

<p>1 家族地域へのあいさつ等</p> <p>生徒は、家族や地域の方に対するあいさつや場に応じた言葉遣いができている。</p>	<p style="text-align: center;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>○生徒が97%、保護者が87%、学校関係者が89%と家族や地域の方にあいさつを行っているという回答。 ▲教職員が68%となっており、学校での実態からすると地域で十分できていない生徒もある程度いることが想定されるという回答である。 ◇「あいさつが飛び交う〇〇中校区」等をキャッチフレーズとした「あいさつの向上」を市教委、教育事務所からも今年度の重点項目として挙げてある。生徒朝会等で生徒会あるいは担当職員等での継続的な呼びかけやと強化週間(月間)等の取組も必要である。</p>																				
<table border="1" style="margin: 0 auto;"> <caption>あいさつに関する評価結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> <th>合計 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>50</td> <td>39</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>40</td> <td>47</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>50</td> <td>47</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>30</td> <td>38</td> <td>68</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)	学校関係者	50	39	89	保護者	40	47	87	児童生徒	50	47	97	教職員	30	38	68	
対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)																		
学校関係者	50	39	89																		
保護者	40	47	87																		
児童生徒	50	47	97																		
教職員	30	38	68																		

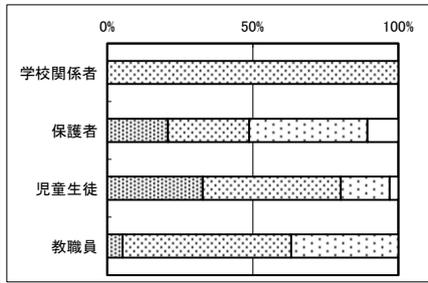
<p>2 稜南中の誇り</p> <p>生徒は、稜南中に誇りを持っている。</p>	<p style="text-align: center;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>○生徒が91%、保護者が89%、学校関係者が100%と生徒は稜南中に誇りを持っているという回答。 ▲教職員は、4段階は0%であり、3段階を含めての100%となっており、「十分満足できる」という評価ではない。 ◇「稜南プライドを持った生徒の育成」に向けて、生徒会活動(各委員会活動)で各委員会ごとに「稜南プライド向上」に向けた取組を1つ設定するなどして生徒の意識を高め、取組が求められる。</p>																				
<table border="1" style="margin: 0 auto;"> <caption>稜南中の誇りに関する評価結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> <th>合計 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>40</td> <td>49</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>50</td> <td>41</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>0</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)	学校関係者	100	0	100	保護者	40	49	89	児童生徒	50	41	91	教職員	0	100	100	
対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)																		
学校関係者	100	0	100																		
保護者	40	49	89																		
児童生徒	50	41	91																		
教職員	0	100	100																		

<p>3 交通ルールを守り登下校</p> <p>生徒は、交通ルールを守り登下校できている。</p>	<p style="text-align: center;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>○生徒が98%、保護者が97%、学校関係者が100%と生徒は交通ルールを守り登下校できているという回答。 ▲教職員は、4段階は0%であり、3段階を含めての79%となっており、「不十分な部分もある」という評価である。 ◇登校時もそうだが、より集団となる下校時の交通指導については、部活動終了時等の継続的な指導や全校集会等の機会での担当からの定期的な発信を継続する中で「交通ルールの徹底」を図っていくことが求められる。</p>																				
<table border="1" style="margin: 0 auto;"> <caption>交通ルールに関する評価結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> <th>合計 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>40</td> <td>57</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>50</td> <td>48</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>0</td> <td>79</td> <td>79</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)	学校関係者	100	0	100	保護者	40	57	97	児童生徒	50	48	98	教職員	0	79	79	
対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)																		
学校関係者	100	0	100																		
保護者	40	57	97																		
児童生徒	50	48	98																		
教職員	0	79	79																		

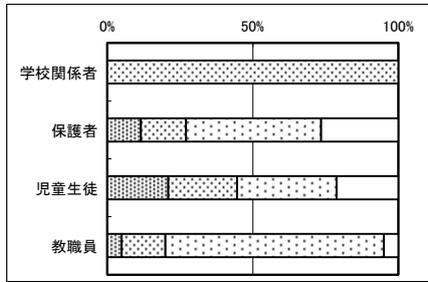
<p>4 自分の命や人権</p> <p>生徒は、自分の命や人権を大切にしている。</p>	<p style="text-align: center;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>○生徒が97%、保護者が98%、学校関係者が100%と生徒は自分の命や人権を大切にしているという回答。 ▲教職員は、4段階は10%であり、3段階を含めての100%となっており、「不十分な部分もある」という評価である。 ◇3の交通ルールの遵守等は、「自分の命は自分で守ること」につながっており、そういう点でもさらなる意識の向上を図る必要がある。また、自分の人権を大切にすることと同じように他の人の人権も大切にしていける実践力が必要である。何気ない言動の中にも「人権感覚」に欠ける部分が見られる生徒もまだ少なくない。人権意識の高揚等に向けて、人権教育の日常化を進める必要がある。定期的な(月ごとに)生徒及び職員の人権意識振り返りシート等の活用・実践を担当で計画、実践等する必要がある。</p>																				
<table border="1" style="margin: 0 auto;"> <caption>自分の命や人権に関する評価結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> <th>合計 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>40</td> <td>58</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>50</td> <td>47</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>10</td> <td>90</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)	学校関係者	100	0	100	保護者	40	58	98	児童生徒	50	47	97	教職員	10	90	100	
対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)																		
学校関係者	100	0	100																		
保護者	40	58	98																		
児童生徒	50	47	97																		
教職員	10	90	100																		

<p>5 友達と仲良く</p>	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p>																				
<p>生徒は、友達と仲良く生活することができている。</p>	<p>○生徒が98%、保護者が96%、学校関係者が100%と生徒は友達と仲良く生活できていると回答。 ▲教職員は、4段階は20%であり、3段階を含めての100%となっており、「不十分な部分もある」という評価である。</p>																				
<table border="1"> <caption>友達と仲良くの回答割合</caption> <thead> <tr> <th>関係者</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> <th>合計 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>96</td> <td>4</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>98</td> <td>2</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>20</td> <td>80</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	関係者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)	学校関係者	100	0	100	保護者	96	4	100	児童生徒	98	2	100	教職員	20	80	100	<p>◇友達への言動等においても、いじめにつながる部分はないか等、常にアンテナを高くしておくことは、今後とも大事にしなければならない。今後、11月末頃に県教委の心のアンケート等も実施されるが、未然防止、早期対応の視点で日常的な指導の充実を生徒指導担当を中心に組織的に図っていく必要がある。</p>
関係者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)																		
学校関係者	100	0	100																		
保護者	96	4	100																		
児童生徒	98	2	100																		
教職員	20	80	100																		
<p>6 環境づくり</p>	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p>																				
<p>生徒は、美しい学校づくりに努めている。</p>	<p>○生徒が93%、保護者が88%、学校関係者が100%と生徒は美しい学校づくりに努めていると回答。 ▲教職員は、4段階は10%であり、3段階を含めての80%となっており、「2」という低い評価も20%である。</p>																				
<table border="1"> <caption>環境づくりに努めている回答割合</caption> <thead> <tr> <th>関係者</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> <th>合計 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>88</td> <td>12</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>93</td> <td>7</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>10</td> <td>70</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>	関係者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)	学校関係者	100	0	100	保護者	88	12	100	児童生徒	93	7	100	教職員	10	70	80	<p>◇担当の先生の方で、掃除前のすばやい移動の呼びかけ放送等もしていただいているが、生徒自身の勤労意欲やどこをどのようきれいにすべきかのアイデアが持てるように全体として生徒を育てていく必要がある。生徒会の環境委員会等の活動の1つの大きな柱として取り組んでいってもらえるとよい。</p>
関係者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)																		
学校関係者	100	0	100																		
保護者	88	12	100																		
児童生徒	93	7	100																		
教職員	10	70	80																		
<p>7 学習への取り組み</p>	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p>																				
<p>生徒は、学校での学習に励んでいる。</p>	<p>○生徒が93%、保護者が77%、学校関係者が100%と生徒は学校での学習に励んでいると回答。 ▲教職員は、4段階は25%であり、3段階を含めての90%となっており、「2」という低い評価も10%である。</p>																				
<table border="1"> <caption>学習への取り組み回答割合</caption> <thead> <tr> <th>関係者</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> <th>合計 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>77</td> <td>23</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>93</td> <td>7</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>25</td> <td>65</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table>	関係者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)	学校関係者	100	0	100	保護者	77	23	100	児童生徒	93	7	100	教職員	25	65	90	<p>◇保護者の評価が一番低くなっている。お子さんの家庭学習での取組のようすからそのように判断された結果と思われる。いずれにしても「より主体的に学習に取り組める」ように「意欲を高める手立て」、「主体的な活動を促す指導法」等について校内研修等を中心に組織として今後も取り組んでいく必要がある。</p>
関係者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)																		
学校関係者	100	0	100																		
保護者	77	23	100																		
児童生徒	93	7	100																		
教職員	25	65	90																		
<p>8 学習の理解</p>	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p>																				
<p>生徒は、授業がよく分かっている。</p>	<p>○生徒が88%、保護者が61%、学校関係者が100%と生徒は授業がよくわかっていると回答。 ▲教職員は、4段階は0%であり、3段階を含めての75%となっており、「2」という低い評価も25%である。</p>																				
<table border="1"> <caption>学習の理解回答割合</caption> <thead> <tr> <th>関係者</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> <th>合計 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>61</td> <td>39</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>88</td> <td>12</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>0</td> <td>75</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table>	関係者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)	学校関係者	100	0	100	保護者	61	39	100	児童生徒	88	12	100	教職員	0	75	75	<p>◇保護者の評価が一番低くなっている。それぞれのお子さんのテスト等の得点や通知表等の評定等からそのように判断された結果と思われる。当然のことであるが、「分かる授業」を期待されている。校内研修で取り組んでいる「分かる授業の5つのポイント」等をしっかり意識した授業改善に努め、授業力向上を学校全体で今後も取り組んでいく必要がある。</p>
関係者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)																		
学校関係者	100	0	100																		
保護者	61	39	100																		
児童生徒	88	12	100																		
教職員	0	75	75																		

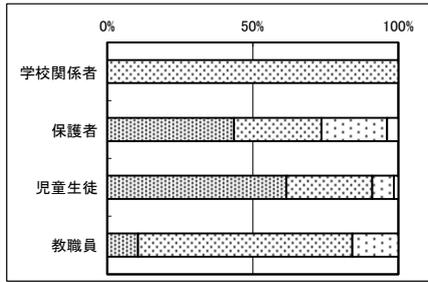
<p>9 家庭学習（予習復習）</p> <p>生徒は、家庭学習（予習や復習）に取り組んでいる。</p>	<p style="text-align: center;">学校から（％は、評価4と評価3の割合）</p> <p>○生徒が80%、保護者が49%、学校関係者が100%と生徒は家庭学習に取り組んでいると回答。 ▲教職員は、4段階は5%であり、3段階を含めての63%となっており、「2」という低い評価も37%である。 ◇保護者の評価が一番低くなっている。ご自分のお子さんの取組の様子からそのように判断された結果と思われる。その結果でいくと約半数の生徒の家庭学習の状況が不十分であるという捉え方もできる。このことから家庭学習の質的転換について保護者の方と課題意識を共有しながら校内研修の基礎学力推進部会等を中心に検討、提案、実践していく必要がある。あわせて「授業」と「家庭学習」をつなぐ「自学タイム」の一層の充実も学校全体で図る必要がある。</p>
---	--



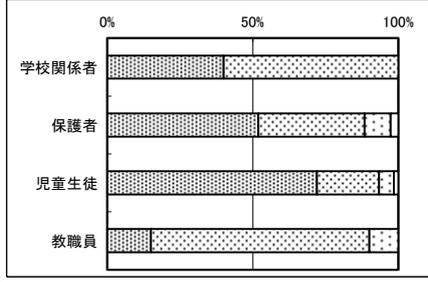
<p>10 読書</p> <p>生徒は、よく本を読んでいる。</p>	<p style="text-align: center;">学校から（％は、評価4と評価3の割合）</p> <p>○生徒が45%、保護者が27%、学校関係者が100%と生徒は、よく本を読んでいると回答。 ▲教職員は、4段階は5%であり、3段階を含めての20%となっており、「2」「1」という低い評価が80%である。 ◇全項目中の評価が一番低い項目である。デジタル化時代での活字離れにどう対応するか難しい課題であるが、現状では学校としての取組で、活字に触れさせる機会を多くして読書習慣につなげていくことが重要である。どの時間でその活動・取組を行っていくのか他の教育活動との関連も含めて校内研修の基礎学力推進部会等を中心に検討・提案をしていく必要がある。</p>
------------------------------------	--



<p>11 食に関して</p> <p>生徒は、給食や家庭での食事では好き嫌がなく何でも食べている。</p>	<p style="text-align: center;">学校から（％は、評価4と評価3の割合）</p> <p>○生徒が91%、保護者が74%、学校関係者が100%と生徒は、給食や家庭での食事を好き嫌なく食べていると回答。 ▲教職員は、4段階は11%であり、3段階を含めての84%となっており、「2」という低い評価が16%である。 ◇保護者の評価が一番低い。家庭での食事での好き嫌いの様子からそう判断された結果と思われる。生徒たちからは、給食では好き嫌なく食べるようにしているという意識がうかがえるので、食育の啓発活動等を定期的に行う中で、子どもたちの意識をさらに高められるようにしていく必要がある。</p>
---	--



<p>12 心身ともに健康な生活</p> <p>生徒は、心身ともに健康な生活を送ることができている。</p>	<p style="text-align: center;">学校から（％は、評価4と評価3の割合）</p> <p>○生徒が93%、保護者が88%、学校関係者が100%と生徒は、心身ともに健康な生活を送ることができていると回答。 ▲教職員は、4段階は15%であり、3段階を含めての90%となっており、「2」という低い評価が10%である。 ◇生徒、保護者、教職員ともに概ね健康的な生活を送ることができているという評価であるが、心配される状況の生徒もいる。先日の保健委員会からのアンケート結果の発表でもあった「休日の睡眠不足」等の課題解決に向けた取組等も含めて保護者にも保健便り、学級通信等で周知しながら継続的な取組を必要がある。</p>
--	---



<p>13 運動について</p> <p>生徒は、体育や部活動で体力づくりに取り組んでいる。</p>	<p style="text-align: center;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>○生徒が89%、保護者が84%、学校関係者が100%と生徒は、体育や部活動で体力づくりに取り組んでいると回答。 ▲教職員は、4段階は20%であり、3段階を含めての95%となっており、生徒や保護者より高い評価である。 ◇生徒、保護者、教職員ともに概ね取り組むことができているという評価であるが、部活動未加入生徒も一定数いることから教科体育は、もちろん、授業以外での全校的な取組の必要性についても協議をしていく必要がある。</p>

<p>14 家庭・地域との連携</p> <p>稜南中では、地域と連携した教育活動ができていると思う。</p>	<p style="text-align: center;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>○生徒が94%、保護者が88%、学校関係者が100%と稜南中は、地域と連携した教育活動ができていると回答。 ▲教職員は、4段階は21%であり、3段階を含めての95%となっており、保護者より高い評価である。 ◇生徒、教職員ともに概ね取り組むことができているという評価をしているが、保護者の方の12%は、そうではないという評価をされているので、「どのような部分での連携が不足しているのか」等も含めて、コミュニティ・スクールの協議会の方々の御意見等も伺いながら連携を深めていくようにする。</p>

<p>15 学校情報の定期的発信</p> <p>稜南中は、学校だよりや学級通信、ホームページ、学校メール等で情報発信を行っている。</p>	<p style="text-align: center;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>○生徒が90%、保護者が88%、学校関係者が100%と稜南中は、学校だより、学級通信、HP、学校メール等で情報発信を行っている(4者ともに「4」評価が4割を超えている)と回答。 ▲教職員は、4段階は60%であり、3段階を含めての100%となっており、保護者より高い評価である。 ◇教職員は、可能な情報発信は、概ねできているという評価をしているが、保護者の方の12%は、そうではないという評価をされているので、「情報発信の手段や機会も含めたより効果的な情報の発信(しっかり読んでもらえる内容)」の在り方を意識しながら行っていくようにする。</p>

<p>16 キャリア教育について</p> <p>生徒は、自分の将来を考え、目標を立てて取り組むことができている。</p>	<p style="text-align: center;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>○生徒が85%、保護者が52%、学校関係者が100%と生徒は、自分の将来を考え、目標を立てて取り組むことができていると回答。 ▲教職員は、4段階は0%であり、3段階を含めての50%となっており、保護者とほぼ同様の評価である。 ◇生徒の評価と保護者、教職員の評価との隔たりは、義務教育段階の生徒たちには進路選択の経験がなく、将来を考え目標を立てて取り組む重要性の実感が伴っていないことにもある。そのためにも中学校段階でのキャリア教育の充実が必要である。キャリア教育の指導計画等に沿ってそれぞれの学年段階に応じたキャリア教育の充実を図っていくようにする。</p>

17	生徒を大切にした教育	学校から(％は、評価4と評価3の割合)
私は生徒を大切にした教育を行っていると思う。		○生徒が86%、保護者が80%、学校関係者が100%と生徒を大切にした教育を行っていると回答。 ▲教職員は、4段階は25%であり、3段階を含めての90%となっており、「2」の評価も10%である。 ◇生徒の14%、保護者の方の20%は、「十分ではない」と評価をしている点に目を向ける必要がある。一人一人の生徒を大事にした教育を行うことは、学校教育の基本である。そのためにもそれぞれの生徒にしっかり向き合うとともに、指導や助言・支援等をする場合には、それぞれの生徒が指導や助言等のねらいをしっかりと理解できるように丁寧な対応を一層心がけていくようにする必要がある。
<p>Detailed description: A horizontal stacked bar chart with three segments: evaluation 4 (dotted), evaluation 3 (horizontal lines), and evaluation 2 (solid). The x-axis shows percentages from 0% to 100%. For '学校関係者' (School staff), 100% are in eval 4. For '保護者' (Parents), 80% are in eval 4 and 20% in eval 3. For '児童生徒' (Students), 86% are in eval 4 and 14% in eval 3. For '教職員' (Teachers), 25% are in eval 4 and 65% in eval 3.</p>		

18	教師への相談	学校から(％は、評価4と評価3の割合)
私は生徒に教育相談等きめ細やかな指導ができていると思う。		○生徒が89%、保護者が80%、学校関係者が100%と生徒に教育相談等きめ細やかな指導ができていると回答。 ▲教職員は、4段階は15%であり、3段階を含めての90%となっており、「2」の評価も10%である。 ◇生徒の11%、保護者の方の20%は、「十分ではない」と評価をしている点に目を向ける必要がある。うまく相談等ができない生徒への対応及びより丁寧な対応が求められる生徒や事案等について、学年部等の組織としての一人一人に応じた対応について一層心がけていくようにする必要がある。
<p>Detailed description: A horizontal stacked bar chart with three segments: evaluation 4 (dotted), evaluation 3 (horizontal lines), and evaluation 2 (solid). The x-axis shows percentages from 0% to 100%. For '学校関係者' (School staff), 100% are in eval 4. For '保護者' (Parents), 80% are in eval 4 and 20% in eval 3. For '児童生徒' (Students), 89% are in eval 4 and 11% in eval 3. For '教職員' (Teachers), 15% are in eval 4 and 85% in eval 3.</p>		

19	適切な評価評定	学校から(％は、評価4と評価3の割合)
私は、生徒の実態をよく把握し、適切な評価・評定ができている。		○生徒が95%、保護者が78%、学校関係者が100%と生徒の実態をよく把握し、適切な評価・評定ができていると回答。 ▲教職員は、4段階は15%であり、3段階を含めての95%となっている。 ◇生徒及び職員の評価は、ほぼ一致しているが、保護者の方の評価はやや低い。22%は、「十分ではない」と評価をしている点に目を向ける必要がある。その背景には、評価・評定の適切さも含めて、それぞれのお子さんについて学力面で十分伸ばしてもらっているのかとの思いもあると捉える必要がある。今後とも適切な評価とともに、一人一人の学力向上につながる指導と評価の一体化に向けて、校内研修を中心に学校全体で授業力向上を一層図るようにする。また、評価の仕方の公表も必要である。
<p>Detailed description: A horizontal stacked bar chart with three segments: evaluation 4 (dotted), evaluation 3 (horizontal lines), and evaluation 2 (solid). The x-axis shows percentages from 0% to 100%. For '学校関係者' (School staff), 100% are in eval 4. For '保護者' (Parents), 78% are in eval 4 and 22% in eval 3. For '児童生徒' (Students), 95% are in eval 4 and 5% in eval 3. For '教職員' (Teachers), 15% are in eval 4 and 85% in eval 3.</p>		